

ほけんだより (おうちの方へ)

R3.12.1
崇広小学校保健室

感染性の胃腸炎に注意！！

今週に入って、胃腸症状で欠席する児童が増えています。保健室にも、気持ちが悪い、お腹が痛いといった症状を訴える児童が多く、学校で嘔吐したり、下痢をしたりする児童も増えています。感染が広がらないようにご理解、ご協力をお願いいたします。

《お願い》

- お子さんが、胃腸症状を訴えたら様子をご覧ください。いつもと違う様子がある場合は、休養して症状が悪くならないかみてください。
- 嘔吐、下痢の症状があるようでしたら、医師の診察を受けてください。無理をせず、症状が治まってから登校するようにしてください。
- トイレのあと、食事の前、外から帰った時などしっかり石けんを使って手洗いをするようにしてください。
- 「ウイルス性胃腸炎」、「感染性胃腸炎」と診断された場合は、必ず学校に連絡してください。(欠席ではなく、出席停止となります。)

感染性胃腸炎

ウイルス(ロタウイルス、アデノウイルス、ノロウイルスなど)が胃腸に入り込んで、胃腸の働きを悪くするために起こります。

症状

腹痛、吐き気、嘔吐や下痢が起こります。熱が出ることもあります。

感染経路

飛沫感染 感染している人の咳やくしゃみ、会話から放出されたウイルスを吸い込むことで感染します。

接触感染 接触したり、ウイルスがついたものに触れたりして、体内に入ることにより感染します。

経口(糞口)感染 ウイルスのついた食品や、便中に排泄されたウイルスによって感染します。

※乾燥してエアゾル化した吐物が感染源となる空気感染もあります。